

2022年5月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

5月の「生活自由度」は2か月連続で上昇し、60.9点に。 「不安」も「行動の抑制」も引き続き緩む

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年5月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は5月6~9日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】3月21日にまん延防止等重点措置が全面解除された後、新型コロナウイルスの新規感染者数は、4月上旬に増加の兆しをみせましたが、その後は、全国的にも東京や大阪など大都市圏でも減少傾向が続きました。ただし、4月下旬になると過去最多を更新した自治体も出現し、地域差もみられる状況となりました。その中で3年ぶりに緊急事態宣言などの行動制限が一切ないゴールデンウィークがスタート。繁華街や観光地が人出で賑わっているとの報道がなされていた中での調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

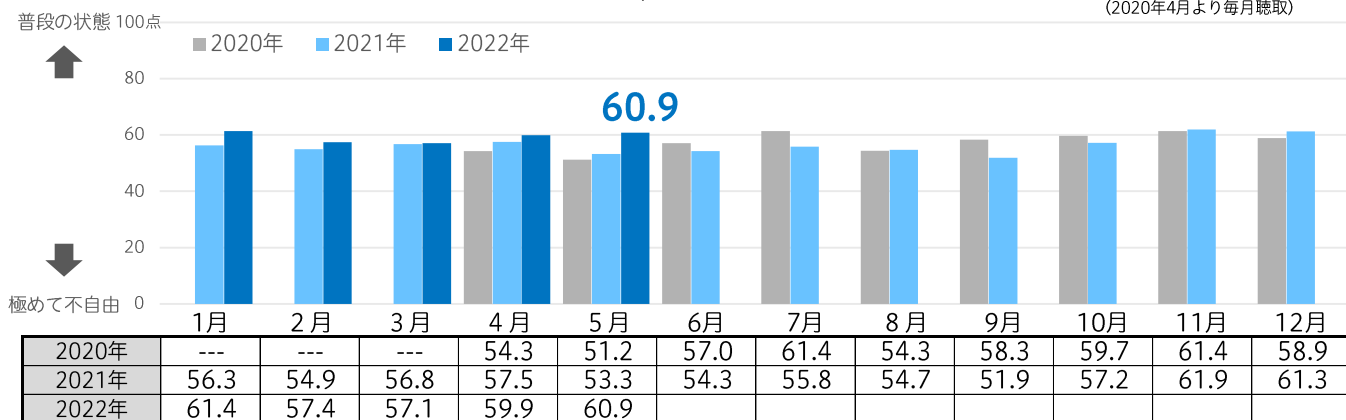
2022年5月は、60.9点

前月差
+0.9pt

前年同月差
+7.6pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年5月は60.9点となりました。先月からは0.9pt増と微増ながら2か月連続で上昇し、今年1月以来の60点台になりました。前年同月との比較でも7.6pt増と大きく上回っています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べてほとんどの項目で減少。「海外の情勢」(74.7%、4.3pt減)、「情報の不足や不確かさ」(59.0%、3.5pt減)が目立ちます。【行動の抑制度】は「旅行・レジャー」(65.9%、8.7pt減)、「体験型エンタメ」(60.8%、8.7pt減)をはじめ、すべての項目で前月より5pt以上減少しました。【行動の実施度】では多くの項目が前月から減少。「家の中でできる娯楽」(55.0%、6.3pt減)、「インターネット通販や出前の利用」(37.2%、5.8pt減)などインドアの活動が減少しています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	海外の情勢	74.7%	- 4.3pt	+ 4.4pt
	情報の不足や不確かさ	59.0%	- 3.5pt	- 8.1pt
	人づきあいの変化	39.7%	- 3.2pt	- 8.1pt
【行動の抑制度】 控えている行動	旅行・レジャー	65.9%	- 8.7pt	- 22.9pt
	体験型エンタメ	60.8%	- 8.7pt	- 24.1pt
	交友・交際	61.9%	- 8.4pt	- 22.6pt
【行動の実施度】 行っている行動	家の中でできる娯楽	55.0%	- 6.3pt	- 22.1pt
	インターネット通販や出前の利用	37.2%	- 5.8pt	- 14.9pt
	自家用車での移動	43.1%	- 5.6pt	- 10.9pt

5月の「生活自由度」は2か月連続で上昇し、60.9点に。

生活自由度は、2月、3月は新規感染者数の増加と「まん延防止等重点措置」適用地域の拡大とともに低下していましたが、3月21日を期限とした同措置の全面解除後、4月は59.9点（前月比で2.8pt増）、5月は60.9点（同0.9pt増）と2か月連続で上昇し、1月以来の60点台になりました。

回答理由からは、感染対策を行いながら行動を解禁・拡大している様子がみられる。他方で制約や孤独感を訴える声も

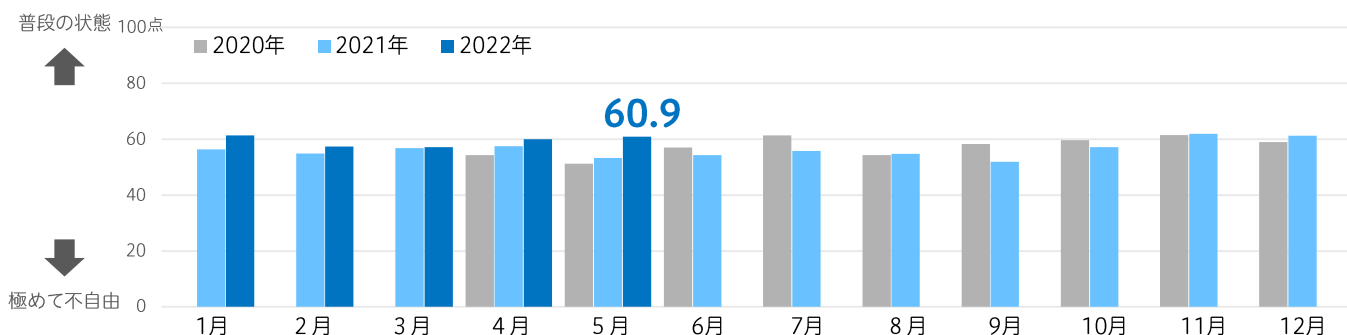
生活自由度「高」:「自分のペースで生活できる」という声のほか、「感染対策にも慣れ」「環境に適合しながら行動している」との声があります。感染状況の落ち着きと行動制限の緩和が「気持ちのゆとり」につながっているようです。一部ですが「感染ピークは過ぎた」とらえる声もみられます。

生活自由度「中」:制限解除によって気楽に行動できるとの声があります。「少人数での屋外遊び」「家族でのランチはするようになった」など、徐々に行動と範囲を自分の中で“解禁”している様子もうかがえます。「感染対策を意識していれば、安心して生活できる」との声もあります。

生活自由度「低」:感染対策に気を遣う生活は疲れる」との声も。「自粛ムードのまん延と感染したくない自制心」といった心理的不安の声、「この2年間はまるで他人の生活のようだ」との違和感や、「孤独」を訴える声など寄せられています。また、保育園の休園は影響が大きいとの声もみられます。

■ 生活自由度

(単位：点 / 差分：pt)



	2020年	2021年	2022年	前月差	前年同月差
1月	---	56.3	61.4	+0.1	+5.0
2月	---	54.9	57.4	-4.0	+2.5
3月	---	56.8	57.1	-0.3	+0.4
4月	54.3	57.5	59.9	+2.8	+2.4
5月	51.2	53.3	60.9	+0.9	+7.6
6月	57.0	54.3			
7月	61.4	55.8			
8月	54.3	54.7			
9月	58.3	51.9			
10月	59.7	57.2			
11月	61.4	61.9			
12月	58.9	61.3			

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

■ 生活自由度の理由(一部抜粋)

生活自由度	理由	スコア	性別・年齢・地域
高 (61点以上)	自分のペースで生きていける。無駄に感じていた飲み会や会合がなく、時間を有意義に過ごせる。自分と向き合い、健康や料理、メイクやファッションの好みを突き詰められるので幸せ。	100点	33歳女性・愛知県
	もともと休日でも外出する方ではなく、そこまで不自由を感じていない。コロナ禍前はマスクをつける習慣がなかったため少し面倒臭さを感じたが、すぐに慣れた。現在はマスク着用・検温・アルコール消毒をすればほとんどコロナ前と変わらないため、90点。	90点	26歳男性・愛知県
	感染対策に気をつけながらも、やりたいことをやれるよう環境に適合しながら行動している。	80点	42歳女性・東京都
	感染ピークが過ぎたと思う。	70点	60歳男性・大阪府
	コロナ感染拡大が落ち着いてきたので、家族も学校や会社へ行くことが増えた。自分自身も、外出や会食することについて気持ちのゆとりが出てきたので。	65点	48歳女性・東京都
中 (41～60点)	行動制限が解除されているので、不自由さはあまり感じていない。	60点	59歳男性・東京都
	コロナ流行前には及ばないが、緊急事態宣言発令やまん延防止等重点措置が開け、外出や外食もそこまで気にせず行えるため。	60点	34歳男性・大阪府
	友人との外食や飲み会はできない状態だが、少人数での屋外遊びなど、徐々にできることは増えていると思うから。	60点	27歳女性・愛知県
	家族でのランチはするようになったが、外出はまだふだん通りにはしていない。	50点	48歳女性・神奈川県
	感染対策をしていると安心できます。多少面倒ですが、不安を意識するよりも気持ちが楽だからです。自分自身のためです。コロナのことが少しでも理解できると、ウィズコロナの生活を意識することなく生活できると思います。	50点	68歳女性・愛知県
低 (40点以下)	マスクをつける生活、飛行機に乗らなければいけないほど距離がある実家や地元自由に帰れない実情、子供に手洗いうがい、外でのものをべたべた触らないことを注意しなくてはならないなど、気を遣わないといけな生活に疲れているため。	40点	37歳女性・東京都
	外出制限など極端な規制は緩和されているが、自粛ムードは蔓延しているし、また感染したくないという自制心もあるため。	35点	60歳男性・兵庫県
	ライブや飲み会、スポーツやランチなど、人と触れ合うことがなかなかしにくい。この2年ほど、自分ではない他人の生活を体験しているようだ。	20点	44歳女性・愛知県
	孤独を感じる。結婚願望はあったけれど、このまま独身でよいのか？とこれまで以上に考えた。しかしどうにもならない現状も受け入れざるをえない。	10点	47歳女性・東京都
	保育所がよく休園になる。	0点	25歳男性・奈良県

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】はほとんどの項目で前月より減少

前月比較では「海外の情勢」(74.7%、4.3pt減)、「情報の不足や不確かさ」(59.0%、3.5pt減)などで減少が目立ちます。

前年同月比較でも、ほとんどの項目が減少。「行政の対応」(66.0%、16.3pt減)、「自分や家族の健康」(61.5%、10.4pt減)などが大きく減少しました。

【行動の抑制度】はすべての項目で前月より減少

前月比較では、「旅行・レジャー」(65.9%、8.7pt減)、「体験型エンタメ」(60.8%、8.7pt減)をはじめ、すべての項目で5pt以上減少しています。

前年同月比較でも、「体験型エンタメ」(60.8%、24.1pt減)、「外食」(57.2%、23.3pt減)など、すべての項目で10pt以上の減少となっています。

【行動の実施度】でも多くの項目が前月より減少

前月比較では、「家の中でできる娯楽」(55.0%、6.3pt減)、「インターネット通販や出前の利用」(37.2%、5.8pt減)などインドアの活動や、「自家用車での移動」(43.1%、5.6pt減)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(53.7%、5.5pt減)など感染防止を意識した行動の減少が目立ちます。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「投資や資産運用」「SNSの閲覧・投稿」(ともに+9.8pt)などとなっています。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	22年3月	22年4月	22年5月	前月差	前年同月差
海外の情勢	79.9	79.0	74.7	-4.3	+4.4
経済の停滞	77.3	74.9	72.9	-2.0	-8.4
行政の対応	70.2	68.3	66.0	-2.3	-16.3
自分や家族の健康	67.4	63.3	61.5	-1.8	-10.4
自分や家族の仕事・収入	57.0	58.9	59.2	+0.3	-1.5
情報の不足や不確かさ	63.3	62.5	59.0	-3.5	-8.1
人づきあいの変化	43.9	42.9	39.7	-3.2	-8.1

(単位：%/ 差分：pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年3月	22年4月	22年5月	前月差	前年同月差	22年3月	22年4月	22年5月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ (握手やハグなど)	76.7	75.3	69.6	-5.7	-16.1	63.3	62.1	60.5	-1.6	-4.6	-9.1
旅行・レジャー	79.2	74.6	65.9	-8.7	-22.9	48.5	49.7	45.9	-3.8	-5.3	-20.0
不要不急の外出	74.3	68.6	62.1	-6.5	-23.0	56.1	57.4	52.7	-4.7	-6.2	-9.4
交友・交際	73.7	70.3	61.9	-8.4	-22.6	50.1	52.1	48.1	-4.0	-6.6	-13.8
体験型エンタメ (ライブ・観劇・映画鑑賞など)	73.7	69.5	60.8	-8.7	-24.1	49.7	49.9	47.0	-2.9	-6.9	-13.8
外食	70.4	64.7	57.2	-7.5	-23.3	48.4	47.9	44.5	-3.4	-6.9	-12.7
不要不急の買い物	67.0	61.4	55.6	-5.8	-22.0	52.9	52.9	50.8	-2.1	-5.5	-4.8

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年3月	22年4月	22年5月	前月差	前年同月差	22年3月	22年4月	22年5月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底 (マスク着用や手洗いなど)	90.0	89.5	87.9	-1.6	-6.3	81.5	80.8	79.3	-1.5	-4.5	-8.6
十分な運動・栄養・睡眠	72.8	75.0	70.9	-4.1	-6.6	81.3	80.8	76.9	-3.9	-6.9	+6.0
感染対策商品や日用品の備蓄	69.3	69.1	64.9	-4.2	-8.2	69.8	69.0	65.1	-3.9	-6.7	+0.2
キャッシュレスでの支払い	64.5	64.2	61.9	-2.3	-3.8	66.8	66.2	65.0	-1.2	-4.1	+3.1
家の中でできる娯楽	68.6	61.3	55.0	-6.3	-22.1	58.1	54.6	50.2	-4.4	-7.7	-4.8
感染対策を徹底している店や施設の利用	58.7	55.8	53.8	-2.0	-8.1	57.9	55.1	53.2	-1.9	-8.9	-0.6
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	61.8	59.2	53.7	-5.5	-15.1	57.5	53.9	51.7	-2.2	-9.4	-2.0
自分で料理する	57.5	55.4	51.7	-3.7	-8.9	63.1	61.1	58.3	-2.8	-8.6	+6.6
人が密集しない屋外でのレジャー	43.9	43.5	45.1	+1.6	+0.4	52.5	52.1	50.1	-2.0	-4.4	+5.0
スマホやパソコンなどでのゲーム	46.5	43.5	43.9	+0.4	-6.9	46.1	43.8	43.8	±0.0	-5.3	-0.1
ストリーミングサービスの利用 (動画や音楽など)	47.1	43.7	43.3	-0.4	-6.2	50.3	47.0	45.1	-1.9	-4.5	+1.8
自家用車での移動	49.4	48.7	43.1	-5.6	-10.9	48.1	45.7	45.3	-0.4	-4.9	+2.2
人が密集しない屋外での運動	41.5	41.0	39.3	-1.7	-6.2	48.4	49.1	44.9	-4.2	-4.8	+5.6
家の中でできる運動	44.5	41.8	39.2	-2.6	-9.9	52.3	48.8	48.4	-0.4	-4.4	+9.2
SNSの閲覧・投稿	43.2	38.1	38.1	±0.0	-3.8	52.4	45.3	47.9	+2.6	-0.2	+9.8
インターネット通販や出前の利用	45.8	43.0	37.2	-5.8	-14.9	46.2	45.1	42.3	-2.8	-4.7	+5.1
時差通勤・時差通学	36.9	34.1	33.2	-0.9	-6.5	41.0	37.0	38.1	+1.1	-2.2	+4.9
副業 (検討含む)	30.6	28.2	29.3	+1.1	+0.1	33.0	30.7	30.1	-0.6	-1.0	+0.8
家の環境充実 (通信環境整備や家電購入など)	32.6	31.1	29.1	-2.0	-5.5	41.0	38.2	36.7	-1.5	-2.6	+7.6
テレワーク ※有職者ベース	30.9	28.2	27.4	-0.8	-4.8	33.4	30.5	29.0	-1.5	-3.3	+1.6
投資や資産運用	28.7	27.5	26.8	-0.7	+0.6	38.1	38.7	36.6	-2.1	+1.6	+9.8
モノを手作りする (手芸、リフォーム、DIYなど)	27.5	26.4	25.2	-1.2	-3.5	34.9	33.5	30.5	-3.0	-3.4	+5.3
普段より少し良いものを買う	30.5	26.9	24.0	-2.9	-3.1	34.8	31.5	29.9	-1.6	-3.2	+5.9
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	24.5	24.7	23.5	-1.2	+0.6	30.1	30.1	28.7	-1.4	+0.9	+5.2
就職・転職・起業 (検討含む)	24.7	21.9	23.4	+1.5	+0.7	28.7	24.3	25.7	+1.4	+1.2	+2.3
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	24.5	24.1	23.3	-0.8	-1.7	29.9	28.5	27.9	-0.6	-1.4	+4.6
オンライン学習	19.2	18.5	18.3	-0.2	-0.6	25.7	24.4	24.0	-0.4	+0.9	+5.7
転居やリフォーム、複数拠点での生活 (検討含む)	17.7	17.3	17.9	+0.6	+1.6	23.9	22.2	21.5	-0.7	±0.0	+3.6
オンラインでの飲み会・食事会	18.5	18.0	17.3	-0.7	-2.2	21.4	18.8	17.3	-1.5	-0.1	±0.0
お店・団体の支援	20.5	20.1	17.3	-2.8	-2.8	24.3	23.0	21.5	-1.5	-2.0	+4.2

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2022年 5月 :1,082人
2022年 4月 :1,070人
2022年 3月 :1,056人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年5月6日(金)~9日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都 それぞれ5月22日時点)

<2020年>

4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
9月 東京でGoToトラベルの予約開始
10月 GoToイートの予約開始
11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中断
12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)

<2021年>

1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)
2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定
3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除
4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大
緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出
5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加)
高齢者へのワクチン接種進む
大規模接種センター開設(東京・大阪)
6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除
7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続
7月 緊急事態宣言、東京(4度目)、首都圏3県・大阪に拡大
東京五輪開幕
北海道・石川・京都・兵庫・福岡にまん延防止等重点措置

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

<2021年>

8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
東京パラリンピック開幕
9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
都は感染警戒レベル1段下げ(9/30)
10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和
欧米での感染者急増の報道 11月末、新変異株「オミクロン株」国内初確認
12月 下月まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染

<2022年>

1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加
「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都道府県に
2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕
まん延防止等重点措置、5県では2月20日をもって解除、18都道府県では3月21日まで延長決定
3月 まん延防止等重点措置が18都道府県で解除(3月21日)。全面解除は2か月半ぶり
[今回の調査時点までの詳細] *厚生労働省HPの新規感染者数データから算出
4月 全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ
重点措置解除からの1か月間に10県で新規感染者数が過去最多を更新との報道
4月21日 島根県で新規感染者数が過去最多を更新
4月22日 全国知事会、新型コロナ緊急対策本部会議で「大型連休に移動の自粛は求めない」
4月26日 全国の新規感染者数18,747人、1週間平均約2.4万人(4/29~5/5)*
5月5日 東京都は2,320人で、24日連続で前週の同じ曜日を下回る